

Kii.co

Annual Report 2025

2025年度 関内イノベーション イニシアティブ株式会社 アニュアルレポート

2026年3月発行

2025年度は、公民連携や市民協働をめざした事業委託に取り組みながら、スタッフのスキル向上、チームビルディングの強化、専門性を広げるための組織外との協業に取り組んだ。さらに、一般財団法人社会価値共創ファームとの連携を推進した。



まちづくり・地域活性化

講座ほか 25年5月～26年3月

3年目となる、 よこはまポジティブエイジング

〔横浜市健康福祉局、モデル地区は西区・金沢区・都筑区・青葉区・中区・港南区・戸塚区〕

<https://yokohamapositive.localinfo.jp>

シニア世代の社会参加促進を目的に、講座の実施、個別相談対応、シニア世代と地域の企業・団体での地域貢献活動とのマッチングを試行。趣味や仕事とは異なる新たな仲間づくり、シニアと地域の各主体との引合せによる成果が少しずつ形になりつつある。



キックオフイベント



YPA活動説明会

シニアがチームとなって課題に取り組む「チームチャレンジ」での協力先は、神奈川新聞社、パパカンパニー、男女共同参画推進協会、地球学校、スペースナナの5者。シニアの多様な知識や経験が、これらの現場で新たな活力として活かされた。



ワークショップ



拠点訪問

受講生 112名

(過年度からの継続参加を含め 180名)

マッチング件数 43件

チームチャレンジ参加者 18名



施設運営・コミュニティ醸成

24年5月～

KANMATCHプロジェクト／ 「まちのラウンジbenten103」の 運営〔神奈川県住宅供給公社〕

<https://kanmatch.yokohama>

フロール横濱関内の1階において、同公社との協働事業として2024年5月にまちのラウンジ・benten103を開設。平日のラウンジ利用をはじめ、館内テナントとの連携イベント、登録者の自主企画によるイベントなどが年間を通して行われ、利用登録者は300名を超えている。



防災まち歩きゲーム
横浜国立大学YNUアーバンリスト
スクールの参加チーム



クリエイターとたのむ人が集う場
井戸端デザイン室



ぶれゆめマルシェ
夢のいしずえ

本取り組みのミッションは再開発が進む関内地区において、2040年以降も地域に愛着を持つファンを増やし続けること。その一環として、開設前から進めてきた「関内人インタビュー」は90名を超え、今後はこの成果を地域へ還元したい考えだ。

新企画「関内大解剖ラボ」では、特に関内で働く人に着目。これまでの関係人口の枠を広げ、新たなつながり創出に挑戦している。

また、本事業では中長期的な変化をとらえるため社会インパクト評価に取り組み、成果の可視化と関係者との深い相互理解に努める。

コンサルティング・情報発信

飲食店紹介記事 85件 (内、関内・伊勢佐木町エリア40件)

YOKOHAMA FOOD LOVERs プロジェクト〔自主事業〕

2021年開設のヒューマングルメサイト「YOKOHAMA FOOD LOVERs」。個性豊かなライターによる取材記事が約85件となる。ライター講座修了生がライターとして活躍。

ヒューマングルメサイト「YOKOHAMA FOOD LOVERs」

<https://yokohamafoodlovers.jp>

事業連携

一般財団法人社会価値共創ファーム

(略称:SOWT) <https://sowt.foundation>

設立3年を迎えた社会価値共創ファームのミッションは、「課題に挑み新しい価値を生み出す人や団体への成長支援と、挑戦者が持続的に活動できる資金循環の仕組みづくりに取り組み、よこはまに新しい生態系をつくること」である。本年度は、中長期計画策定委員会を立ち上げ、ロジックモデルを用いながら3年間の事業計画を検討するとともに、以下の各種事業を展開した。

よこはまポジティブエイジング事業(横浜市委託事業)

nexus career(越境キャリアトーク・ポッドキャスト、通算9回)

第1回SOWT Future Session(新たな価値創出セッション)

KANAGAWA HERI-PORT 2026(2年目、歴史をいかしたまちづくりピッチ)

これからの横浜を語る夜(ワークショップ、(一社)越境実験室との共催イベント)

神奈川新聞社みらいラボプロジェクト(通年の社内研修・メンタリング)

こどもホスピス設立講座(新講座の企画運営協力) など



関内
大解剖
ラボ
KANAN ANATOMY LAB



コンサルティング

23年度～

寺家ふるさと村農ある公共空間構想業務委託

〔横浜市 みどり環境局〕 <https://jikemirai.info>

将来に向けた寺家ふるさと村の良好な田園景観の保全と、総合案内所「四季の家」の機能・設備のあり方の見直しを目指して、公民連携の手法を検討し、本年度が最終年度(3年度目)となった。

寺家みらいプロジェクトという枠組みで、合同会社HOCの協力を得て、今後のビジョンを考えるワークショップを開催した。さらに横浜市や株式会社オープン・エー(公共R不動産)とともに、企業への事前ヒアリングを含むサウンディング型市場調査に取り組んだ。

これら3か年の成果として、エリアコンセプトブックの素案および概要版を作成した。



ソーシャルビジネス・地域起業のノウハウ提供と 事務局運営

講座・伴走支援 25年4月～26年3月

ミライカナエル活動サポート事業 伴走支援プログラム〔藤沢市市民自治推進課〕

藤沢市内の地域活動団体に対する講義および相談会で講師を担当。

講座

通年

マスマスカレッジ・第12期実践創業講座オンデマンド 〔自主事業〕

リニューアル、4カテゴリー、全26動画で内容充実、いつでもどこでも自分のタイミングで。学び直しや事業の見直しにも最適。

<https://jissensogyokoza.massmass.jp>



冊子制作

『Local Life Shift ミドルシニアのこれからの 生き方・暮らし方』

価値ある「Local Life Shift」に向け、50歳以降の地域活動や副業・起業のロールモデル冊子を公開。多様な事例の周知を通じて、個人の主体的なキャリア形成と自治体・企業の受け入れ体制整備を後押しします。

<https://yokohamapositive.localinfo.jp/posts/58835788>



『佐原のあした PROJECT 実践録2022-2024』

「地域の未来はその一歩から」をキャッチフレーズに、佐原で何かコトを起こしたい、新たな一歩を踏み出す若者を応援してきました。その3年間の軌跡をまとめました。令和7年度関東地区信用金庫PRコンクール「地域密着部門」入賞。

<https://kii-net.jp/info/20250911/>



事業者応援メニュー

クラウドファンディング

<https://camp-fire.jp/curations/massmass>

【水戸発】サウナと銭湯を中心とした
「ともにすごし、ともに育つまち」をつくりたい！

調達額 5,122,976円



これまでの実績

支援プロジェクト数 …………… 44件

支援総額 …………… 76,317,626円

支援者数 …………… 5,171名